

## 『コスト縮減に向けた取り組み』 川の伐採木 市民に無償配布！

### ■川の伐採木を無償配布 ～試行的取り組み～

現在、揖斐川・杭瀬川では、河川内の樹林化した樹木群について、洪水の流れの妨げになることや、河川巡視時や監視カメラの見通しを妨げたり、ゴミの不法投棄等を助長する恐れがあるものは、河川環境に配慮しながら伐採を行っています。

樹木の伐採を行いますと、伐採→運搬→処分  
の費用として、100m<sup>2</sup>当たり数万円を要し、その大半が運搬、処分費で占められています。

こうした状況の中で、揖斐川第二出張所では、伐採木を無償で配布することでコスト縮減を図り、また、資源を薪等で利用することで有効活用していただくための取り組みを試行的に行っています。



伐採前

平成25年5月1日撮影



伐採後

平成25年9月27日撮影

### ■10トンの伐採木を無償配布！

揖斐川等で伐採したカワヤナギの樹木を、平成25年11月15日（金）～16日（土）の2日間にかけて、揖斐川左岸36.4Kp地点（安八町牧地先）の河川敷において無償配布を行いました。

当日は、肌寒い日となりましたが、2日間で延べ25人の方々がトラック等で現地に駆け付け、自らが子割りした約10トンの樹木を引き取って頂きました。



①チェーンソーによる子割状況



②積み込み状況



③重量検収実施状況

## ■薪ストーブの薪材としての活用が主目的。

今回、揖斐川第二出張所管内（牧田川出張所分含む）で準備させていただいた無償配布対象の伐採木は合計で約60ト。その内、約10トが市民の方々に配布することが出来ました。

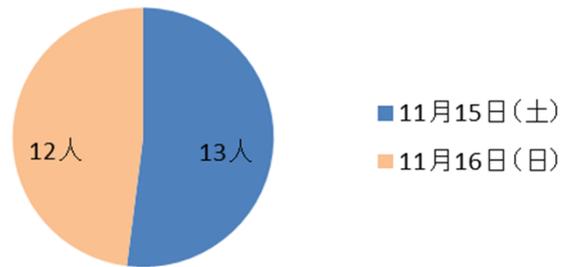
その内訳として、土・日曜日問わず、ほぼ同人数の方が来場し、揖斐川沿川にお住まいの方々が半数を占めていました。また、使用目的としては、一人を除き、全ての方が薪ストーブの薪材としての活用とのことでした。

なお、当初予定された容量よりも少ない配布量となった原因は色々と考えられますが、主な理由として、以下のことが考えられました。

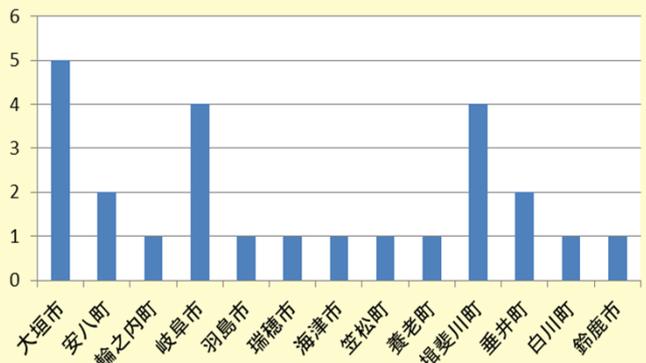
- (1) 天候が不順であった。（11月15日）
- (2) 今年度は、各地で無償配布イベントを実施するため、来場者が分散する傾向があった。
- (3) 広報活動が十分に浸透しなかった。

以上、今年度の配布実態を踏まえ、来年度以降、配布時期や広報手法等について、更に検討のうえ実施して参りたいと考えています。

## 配布日



## 来場者数



## 使用目的

